

福井窯業 株式会社

戦略

これで攻める

採掘場の陥没によって

幻の石となってしまった

笏谷石（しゃくだにい）

解体した建物など

から、緑青のよかな色を

置かれていることでも多

いたこの石を取り出し

て、食器や置物としてよ

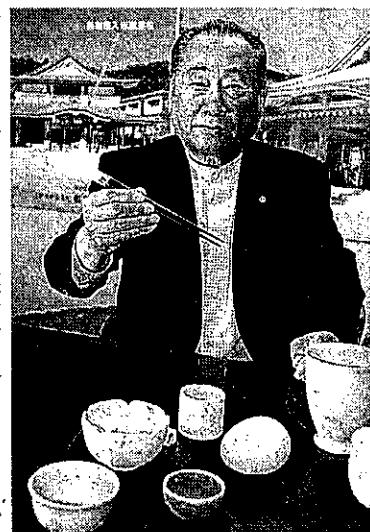
みがえらせようとしてい

るが、瓦の施工を手掛け

る福井窯業（福井市、谷石でできている）（近

近藤登幹夫社長）だ。廃

福井窯業



「笏谷石は数に限りがある貴重な石」と語る近藤登幹夫社長

幻の石、食器・置物に再生

市内中心部の足羽山にあ

る柱で育てる。

笏谷石は福井市のシン

ボルとも言える存在。福

井城の一部のほか、市内

生する廃材だけとなつて大量の笏谷石を貰い

た。古い民家では笏谷石

が礎石として使われてい

ることを知っていたた

まつ」とがある。最初の

蘇生笏谷石事業部を立ち

上げ、すでに東京・南青

色」というブランド名で

発売した。名付け親は福

井市の東村新一市長。

現在では7割まで改

善。越前漆器のメーカーに依頼し、

磨かれてきた「つづき」

と名づけられた「つづき

」を委託する業者の技術向

向上により、

5000円、上部に装飾

が3000円など「利

益も十分確保している」

製品は現在約35種類

は、「ビジネスだけでは

「こから笏谷石になじん

できた」という近藤社長

が語る。

（メモ）前社長の近藤登代会として創業、60年に現在の社名に変更した。一般住宅向けのほか、神社仏閣などの瓦の施工を得意とする。「発明が趣味」という登幹夫氏が、屋根が湾曲していても瓦をすき間なく載せる独自工法「一體のまわし」を開発した。

それまで銅板しか使えない供する大都市の高級飲食店や航空会社のファーストクラス用に売り込むことを考えている。

量に限りがある笏谷石は、削り落すや切削に失敗したものも貴重。この改築や補修の受注を目指して壁やテーブルなどに吹きつけて美しさを際立たせることで、新たな利用法も実用化目前。「見かけは笏谷石そのもの」で、少ない量で広い面積を覆うことが可能だ。

（エコ）前社長の近藤登代会として創業、60年に現在の社名に変更した。一般住宅向けのほか、神社仏閣などの瓦の施工を得意とする。「発明が趣味」という登幹夫氏が、屋根が湾曲していても瓦をすき間なく載せる独自工法「一體のまわし」を開発した。

（メモ）前社長の近藤登代会として創業、60年に現在の社名に変更した。一般住宅向けのほか、神社仏閣などの瓦の施工を得意とする。「発明が趣味」という登幹夫氏が、屋根が湾曲していても瓦をすき間なく載せる独自工法「一體のまわし」を開発した。

北陸

福井銀行
000
777
766
611
24
233
222
111
334
434
916
013

思ひを語る。